

WebFOCUS リリースノート（アシスト追補版）

Version 9.3.5

本リリースノート（アシスト追補版）では、英語版マニュアル『WebFOCUS Release Notes Version 9.3.5』を補完する情報と注意点を記載しています。WebFOCUS Version 9.3.5 をインストールの前に必ずご一読ください。

トピック

- WebFOCUS リリースノートについて
- WebFOCUS Version 9.3.5 で修正された問題
- WebFOCUS Version 9.3.5 で新規に発生する問題
- ライセンスファイルの適用について（WFTEST-5982）
- ライセンスファイル満了日確認用プロシジャについて
- 以前のバージョンからの Resource Analyzer リポジトリの移行について（WFTEST-5906）
- オンラインヘルプについて（WFTEST-6061）

WebFOCUS リリースノートについて

英語版マニュアル『WebFOCUS Release Notes Version 9.3.5』には、利用される環境によって必要な設定および注意点が記載されています。WebFOCUS をご利用の前に必ずご一読ください。

Release Notes は、WebFOCUS Knowledge base サイトからダウンロードしていただくことができます。

WebFOCUS Knowledge base へのアカウント登録が必要です。アカウントをお持ちでない場合は、下記 URL 上に表示される「WebFOCUS Knowledge base とは？」のリンクからアカウントの申し込みを行ってください。

<https://wfp.ashisuto.co.jp/service/>

WebFOCUS Version 9.3.5 で修正された問題

WebFOCUS Version 9.3.5 では、新たに以下の問題が修正されました。

管理番号	コンポーネント	内容	修正バージョン
WFTEST-3616	Reporting Server	ポータルに配置した 2 つの Analytic Document の一方から、Excel 出力(xlsx 形式)を行うと、出力されるデータの内容がもう一方のレポートの内容となります。	9.3.5
WFTEST-6128	Reporting Server	グラフで空文字("")が設定された変数をドリルダウンで渡し、ドリルダウン先で表示すると、「%20」と表示されます。	9.3.5
WFTEST-6154	Reporting Server	Web コンソール[通知]> [ログインメッセージ]の[表示項目]の回数を設定してもログイン時に毎回メッセージが表示されます。	9.3.5
WFTEST-6172	Reporting Server	Web コンソール外観でカスタムリンクを設定しても、設定したリンク先が表示されません	9.3.5
WFTEST-6273	Reporting Server	InfoAssist にて AHTML 形式で出力時、条件付きスタイルを指定する項目にダイナミックフォーマット変換を使用している場合、条件付きスタイルが適用されません。	9.3.5
WFTEST-6417	Reporting Server	4,000 バイト以上となる文字型データを AHTML 形式で出力すると、エージェントクラッシュが発生します。	9.3.5
WFTEST-6429	Reporting Server	SQL パススルーを使用し、プロシジャ内の「PREPARE SQLOUT FOR」の直後にコメント (/**/)を指定するとエラーになります。	9.3.5
WFTEST-6437	Reporting Server	COMPUTE で作成した一時項目を HEADING に指定すると FOC020 エラーが発生します。	9.3.5
WFTEST-6492	Reporting Server	ファイル名が数値から始まるファイルをアップロードする際、[詳細]ボタンから[保存してプリペアを再実行]をすると、[詳細]などのボタンや区切り文字などを選択するドロップダウンリストが表示されません。	9.3.5

WFTTEST-6513	Reporting Server	Excel ファイルをアップロードする際に、小数点を含む数値データが存在する場合、データアップロード画面にて[ヘッダ行]の初期表示が「3」になります。	9.3.5
WFTTEST-6514	Reporting Server	数字から始まるファイルアップロードした際に、データに小数が含まれると、シノニムの SEGNAME が SEG01 に変わる場合があります。	9.3.5
WFTTEST-6520	Reporting Server	ファイル名が数値から始まるファイルをアップロードする際、[ヘッダ]ボタンを押下もしくは [ヘッダ行] の値を変更しても、プレビューのヘッダ行数を設定できません。	9.3.5
WFTTEST-6523	Reporting Server	ファイルのアップロードで Excel ファイルをアップロードする際に、日付を表す 8 桁の数値データをもつフィールドのデータタイプを日付フォーマットに変更することができません。	9.3.5
WFTTEST-5829	Resource Analyzer	保守ジョブのデータ範囲を [指定した月数より古いデータ] から変更すると、保存できずエラーが発生します。	9.3.5
WFTTEST-6355	Resource Analyzer	Oracle アダプタで、複数のサブクエリや JOIN を含む特定の複雑な SQL パススルーのリクエストが、Resource Analyzer でログ出力されない場合があります。	9.3.5
WFTTEST-6477	Resource Analyzer	Resource Analyzer を有効にしている場合、複数のリクエストを含むプロシジャ実行時のレスポンスが劣化します。	9.3.5
WFTTEST-885	In-Document Analytics	Active Report で条件付きスタイルシートが正しく適用されない場合があります。	9.3.5
WFTTEST-2881	In-Document Analytics	Analytic Document で CSV 形式でエクスポートした場合、アクティブキャッシュが有効な場合は拡張子なしで出力されます。	9.3.5
WFTTEST-6074	In-Document Analytics	Analytic Document 形式でアクティブキャッシュ有効時、ACROSS を私用したレポートを実行し、セルフフィルタを設定すると、すべてのデータが一番左側のデータになります。	9.3.5
WFTTEST-3265	InfoAssist	Oracle 側で VARCHAR(32767)等の桁数の多い項目を Analytic Document 形式で 実行するとクラッシュします。	9.3.5
WFTTEST-5561	InfoAssist	SJIS 構成の場合、InfoAssist(グラフ)の軸ラベルでカスタムフォーマットに機種依存文字の通貨記号(€等)が設定できません。	9.3.5
WFTTEST-5967	Designer	拡張グラフ「Datatables Grids」で拡張プロパティ「padding」を設定しても、設定値が有効になりません。	9.3.5
WFTTEST-5988	Designer	Datatables Grid で responsive 設定を外すと、横スクロール時にタイトル行と明細行がズレて表示されます。	9.3.5

WFTEST-6000	Designer	Designer のデータタブにて作成した HOLD ファイルをもとにビジュアライゼーションでレポートを作成、保存後、再ログインして Designer で編集すると FOC205 エラーが発生します	9.3.5
WFTEST-6044	Designer	Resource Analyzer が構成された環境で、Designer で数値項目をフィルタツールバーに設定すると FOC002、FOC009 等のエラーが発生します。	9.3.5
WFTEST-6278	Designer	Designer ページで、パネルグループ内にコンテナを複数配置した場合、レスポンス表示（画面サイズを縮小した）時に、パネルグループ内のコンテナの並び順はコンテナの追加順で表示されます。	9.3.5
WFTEST-6416	Designer	Designer のビジュアライゼーション作成時、「データ」タブより「カラムの選択」から一時ファイルを編集した後、一度保存した状態で再度「保存」もしくは「名前を付けて保存」をクリックすると、FOC205 エラーが発生します。	9.3.5
WFTEST-6438	Designer	Designer にて折れ線グラフを作成する際に、縦に設定した項目を右クリックしても[ドリルダウンの構成]が表示されません。	9.3.5
WFTEST-6497	Designer	Designer の編集画面にて見出しに改行を指定すると、プレビューエリア内の見出しとレポート/グラフの間に空白が追加されます。	9.3.5
WFTEST-6502	Designer	Designer のデータタブにて作成した HOLD ファイルをもとにビジュアライゼーションで動的フィルタを設定したレポートを保存後、再ログインして実行するとフィルタの値が表示されません。	9.3.5
WFTEST-6515	Designer	オートプロンプト「レスポンス」では、テキストを入力しフィルタ値の条件検索が可能でしたが、オートプロンプト「デザイナー」ではその検索機能がありません。	9.3.5
WFTEST-5753	App Studio	日付項目でドロップダウンリスト内の項目を絞り込むと、同じ項目が複数回表示されることがあります。	9.3.5
WFTEST-6064	App Studio	HTML キャンバスで["すべて"オプションを追加する]と[表示値]を設定すると、実行時に[表示値]の値で子のコントロールが絞り込まれません。	9.3.5
WFTEST-6121	App Studio	プッシュボタン、リセットボタン、選択の保存ボタンがある HTML ファイルを実行した際に、新規パラメータダイアログで作成した実行ボタンやリセットボタンに文字が入力可能になります。	9.3.5
WFTEST-6170	App Studio	ポップアップスタイルのドロップダウンリストで「すべて」および「選択なし」オプションを設定したときに、連鎖先のデフォルト値に「;すべて」が表示されます。	9.3.5

WFTEST-6231	App Studio	App Studio にて非公開の「HTML」ファイルと同じファイル名で「HTML」ファイルを保存しようとした時、「アクセス拒否」と表示され、別フォーマットでの保存時とは異なる警告メッセージが表示されます。	9.3.5
WFTEST-6235	App Studio	テキストボックスとポップアップダブルリストコントロールを連鎖している場合、選択条件保存後の HTML を実行時に、間違った値を検索してもポップアップダブルリストコントロールに値が表示されます。	9.3.5
WFTEST-6243	App Studio	ポップアップダブルリストコントロールで「ページ検索/コントロール」を有効にしていると、選択条件保存後の HTML を実行時に、値が保存されません。	9.3.5
WFTEST-6327	App Studio	App Studio の HTML キャンバスにおいて、[テキスト] や[プッシュボタン]などの要素を「テキストの編集」状態にして、別の要素を配置した直後に「元に戻す (Ctrl + Z)」をクリックすると、App Studio が強制終了します。	9.3.5
WFTEST-6357	App Studio	タブコンテナでページに複数のフレームがある場合、実行時に開いてないページの片方のフレームに結果が表示されません。	9.3.5
WFTEST-6410	App Studio	連鎖先のコントロールに XML ファイルを直接指定した場合、連鎖元で連鎖先に対応しない値を選択しても、連鎖先には全ての値が表示されます。	9.3.5
WFTEST-6480	App Studio	App Studio のレポートキャンバスで、レポートの背景色のカラーパレットで設定した色が実行結果に正常に反映されません。	9.3.5
WFTEST-6494	App Studio	App Studio にて、スタイルに「DEFMACRO」が含まれるプロシジャを開こうとすると、エラーが発生してプロシジャを開けません。	9.3.5
WFTEST-6133	BI Portal	レガシーホームページで作成したポータルを削除しようとすると、「Get Properties は実装されていません」のエラーが出て削除できません。	9.3.5
WFTEST-6165	Mobile	AHTML のレポートをモバイル端末で表示した場合、レポートの項目のヘッダ部分と明細部分が一緒にスクロールせず、レポートの明細部分のみスクロールします。	9.3.5
WFTEST-6318	Web コンソール	データアップロード画面もしくはデータフロー画面の[ロードオプション] パネルにて、[ロードタイプ] (ドロップダウンリスト) が見当たりません。	9.3.5
WFTEST-6384	Web サービス	WebFOCUS Client アダプタのサンプルシノニムの get_items でアダプタ構成時に指定したユーザのマイコンテンツ情報しか出力できません。	9.3.5
WFTEST-6473	インストール	Linux 環境に WebFOCUS 9.3.4 をインストールする際は、catalina.sh に「JAVA_OPTS="-Djava.awt.headless=true"」を記述する必要があります。	9.3.5

WFTEST-5931	ホームページ	ポータル参照権限のみ持っているユーザで、ポータルビューから確認した時、公開済のポータルに非公開マークがつきます。	9.3.5
-------------	--------	--	-------

WebFOCUS Version 9.3.5 で新規に発生する問題

WebFOCUS Version 9.3.5 では、以下の問題（仕様変更、注意点を含む）が新規に発生することが報告されています。

管理番号	コンポーネント	タイプ	内容
WFTEST-4989	App Studio	不具合	InfoAssist でパレートグラフを使用すると、ツールチップにすべて同じ値が表示されます。
WFTEST-6584	管理コンソール	不具合	ポータル参照権限のみ持っているユーザで、ポータルビューから確認した時、公開済のポータルに非公開マークがつきます。
WFTEST-6569	BI Portal	不具合	WebFOCUS Hub で「新しいことを始める」タブから、「データの探索」を選択すると、「この機能をサポートするデータサーバが見つかりません。WebFOCUS 管理者に連絡してください。」というメッセージが表示されます。
WFTEST-5772	その他	不具合	Designer ビジュアライゼーションで、見出しや脚注に変数「現在の時間 (hh:mm:ss)」を設定した時に、時刻がコロン (:) ではなくピリオド (.) 区切りのフォーマットで表示されます
WFTEST-6618	Designer	不具合	Designer ビジュアライゼーションで一度保存したコンテンツに対して再度編集画面でパラメータ名を変更しても変更が反映されません。また、保存ができません。

WebFOCUS をご使用にあたっての非互換、不具合の詳細な情報は、AWSC-2（Ashisuto Web Support Center-2※）の WebFOCUS 不具合・非互換一覧 バージョン 9（FAQ 番号：60195）をご確認ください。
<https://ashisuto.my.site.com/awsc2>

※AWSC-2 のログインにはサポート ID が必要となります。

ライセンスファイルの適用について（WFTEST-5982）

WebFOCUS V9.3.0 より、WebFOCUS Reporting Server をインストールするために、顧客 ID とライセンスファイルの適用が必要となりました。

【注意事項】

- 顧客 ID は、WebFOCUS Reporting Server インストール時に指定します。
- ライセンスファイルには、契約満了日の情報が含まれており、その日付を過ぎると WebFOCUS Reporting Server が起動できなくなります。そのため、満了日までに契約の更新と新しいライセンスファイルの入手と適用が必要となります。契約に関する手続きについては、弊社営業担当にお問い合わせください。

【手順】

1. WebFOCUS Reporting Server を停止します。
2. 以下のフォルダ/ディレクトリに、入手したライセンスファイル（license.txt）を配置します。

ライセンスファイルの配置場所：

Windows: <drive>:\ibi\srv93\wfs\bin

Linux: <directory>/ibi/srv93/wfs/bin

3. WebFOCUS Reporting Server を開始します。

ライセンスファイル満了日確認用プロシジャについて

WebFOCUS V9.3.5 以降、WebFOCUS Reporting Server 起動時にライセンスファイル満了日をチェックし、満了日までの残り日数とともにメッセージをワークスペースログ（edaprint.log）に出力するためのプロシジャ（expchk.fex）を提供します。

このプロシジャを使用してライセンスファイル満了日をチェックするためには以下の手順で設定を行ってください。

【注意事項】

- ライセンスファイル満了日確認用プロシジャファイル（expchk.fex）は、インストールモジュールの kka\ExpChecker フォルダ（Linux の場合は kka/ExpChecker）に含まれています。

【導入手順】

1. WebFOCUS Reporting Server を停止します。
2. インストールモジュールに含まれるライセンスファイル満了日確認用プロシジャファイル（expchk.fex）を以下の配置場所にコピーしてください。

expchk.fex の配置場所：

Windows: <drive>:\ibi\apps\baseapp

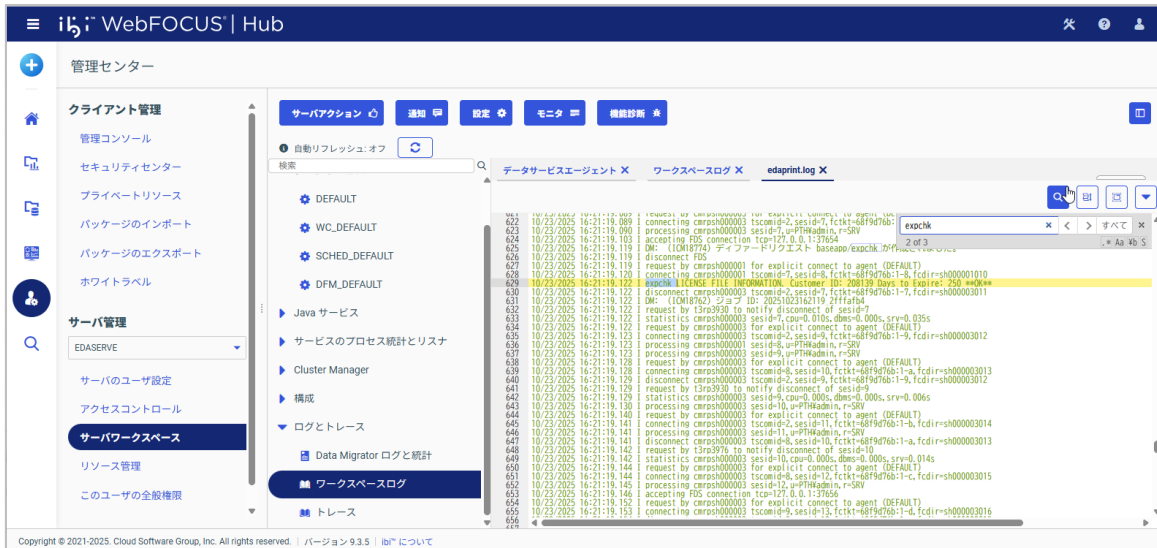
Linux: <directory>/ibi/apps/baseapp

※baseapp 以外にもアプリケーションパスが設定された任意のアプリケーションフォルダに配置することもできます。

3. WebFOCUS Reporting Server を開始します。

【確認方法】

WebFOCUS Hub（http://hostname/ibi_apps/）にログインし、[管理センター]メニュータブの[サーバワークスペース]で、[ログとトレース]－[ワークスペースログ]から最新の edaprint を表示し、出力メッセージを確認することができます。



Expchk.fex は WebFOCUS Reporting Server 起動時に自動的に実行され、メッセージはライセンスファイル満了日の残日数により以下の内容で出力されます。

＜満了日まで 60 日以上の場合＞

I expchk LICENSE FILE INFORMATION. Customer ID: 999999 Days to Expire: 250 **OK**

有効な顧客 ID

満了日までの残日数

＜満了日まで 60 日未満の場合＞

W expchk LICENSE FILE INFORMATION. Customer ID: 999999 Days to Expire: 59 **WARNING**

有効な顧客 ID

満了日までの残日数

満了日が 60 日未満の場合は、警告メッセージとして表示されます。お早めにご契約更新手続きの上、新しいライセンスファイルに入れ替えてください。

以前のバージョンからの Resource Analyzer リポジトリの移行について (WFTEST-5906)

WebFOCUS V9.2.2 以降、Resource Analyzer を新規構成した場合のリポジトリのテーブル名は、末尾にバージョン番号を表す名前に変更となります。

各バージョンのテーブル名： V9.2.x の場合は「SMxxx_9200」、V9.3.x の場合は「SMxxx_9300」等となります

<V8.2.07 ~ V9.2.1>	<V9.2.2 ~ V9.2.3>	<V9.3.x>
SMAUDIT_8207	SMAUDIT_9200	SMAUDIT_9300
SMCOLUMNS_8207	SMCOLUMNS_9200	SMCOLUMNS_9300
SMFROMS_8207	SMFROMS_9200	SMFROMS_9300
SMFUNCTIONS_8207	SMFUNCTIONS_9200	SMFUNCTIONS_9300
SMGOVERN_8207	SMGOVERN_9200	SMGOVERN_9300
SMQUERY_8207	SMQUERY_9200	SMQUERY_9300
SMRELATIONS_8207	SMRELATIONS_9200	SMRELATIONS_9300
SMREMOTES_8207	SMREMOTES_9200	SMREMOTES_9300
SMREQUESTS_8207	SMREQUESTS_9200	SMREQUESTS_9300
SMRPCREQUESTS_8207	SMRPCREQUESTS_9200	SMRPCREQUESTS_9300
SMRPCS_8207	SMRPCS_9200	SMRPCS_9300
SMRPCWF_8207	SMRPCWF_9200	SMRPCWF_9300
SMSERVERS_8207	SMSERVERS_9200	SMSERVERS_9300
SMSESSIONS_8207	SMSESSIONS_9200	SMSESSIONS_9300

WebFOCUS のバージョンアップにおいて、V9.3.x の新規インストールを行い、以前のバージョン（V8.2.07～V9.2.3）で構成済みの Resource Analyzer リポジトリを移行する場合、以下の手順で対応してください。

以前のバージョンから Resource Analyzer リポジトリの移行を行わない場合は、対応の必要はありません。

また、以前のバージョンから更新インストールを行った場合は、Resource Analyzer のリポジトリテーブルは以前に構成されたテーブル名が使用されるため、対応は不要です。

【事前確認】

- 移行元環境（V8.2.07～V9.2.3）と移行先環境（V9.3.x）の Reporting Server のコードページは、同じである必要があります。
- 移行元環境（V8.2.07～V9.2.3）と移行先環境（V9.3.x）の Resource Analyzer 構成で使用するアダプタのタイプ/バージョン、接続名は、同じである必要があります。

【手順】

1. 移行元環境と移行先環境の Reporting Server のサービスを停止します。
2. 移行元環境の<drive>:\ibi\srv**\wfs\catalog\rm フォルダをコピーし、バックアップを取得します。
3. 移行先環境の<drive>:\ibi\srv93\wfs\catalog\rm 配下に、2.で取得したバックアップから rm フォルダ配下のファイルをコピーします。
4. 移行先環境の Reporting Server のサービスを起動します。
5. Web コンソールにアクセスします。ブラウザを起動し、次の URL にアクセスします。
http://hostname:port/
説明：
hostname
WebFOCUS Reporting Server を実行しているマシンのホスト名または IP アドレスです。
port
インストール時に指定した HTTP ポートです。デフォルトは 8121 です。
6. 画面上部のツールメニューから[リソース管理]を選択し、リソース管理画面で以前のリリースで蓄積された利用ログを表示できることを確認します。

オンラインヘルプについて（WFTEST-6061）

WebFOCUS V9.3.0 より、オンラインヘルプは以下のメーカードキュメントサイトで公開されるヘルプに統一されました。（オンラインヘルプは現在英語版のみの公開となります。）

【WebFOCUS Client】

<https://docs.tibco.com/pub/wf-wf/9.3.0/doc/html/Default.htm>

【WebFOCUS Reporting Server】

<https://docs.tibco.com/pub/wf-rs/9.3.0/doc/html/Default.htm>

【WebFOCUS App Studio】

<https://docs.tibco.com/pub/wf-as/9.3.0/doc/html/Default.htm>

各ヘルプは、HTML 形式でダウンロードすることもできます。

以上